

I 研究の概要

I 研究の概要

1. 問題意識

特別支援教育への転換が進められる中、これまで障害領域で括られてきたこの教育が、今後は、障害種別を超えて、個々の子どもの教育的ニーズに応じた教育として再構築されたいこうとしている。その中で、言語障害領域の現場では、これまでの培ってきた知見を今後どのように継承していくかが課題となってきた。

そこで、この研究では、言語障害教育の専門性や担当教員が備えるべき専門的な知識を確認し、その継承を目的とした研修のカリキュラムと研修教材の開発を試みることにし、併せて、研修に資する教材データベースの構築を構想した。

これまで、研修に関わり、国や都道府県等の行政の取り組みがなされてきたが、この研究では、各教育現場の担当教員が中心となり、教育実践の中で培われた知見を、教育現場の教員の立場に立って、その在り方を検討し、研修に資するカリキュラムと研修教材の開発に取り組むこととした。

2. 研究の目的

言語障害教育を担当する教員が必要とする専門的知識・技能を現場での実践を中心に調査分析し、担当教員の実践的指導力を高めるための研修プログラムを開発する。また、研修に必要な教材の開発及び収集を行うとともに、研修教材データベースの在り方を検討しその構築を試みる。更に、研修を支援する体系的なシステムの構築をめざし、支援に当る人材の開発及び人材データベースの在り方を検討する。以上のことを通して得られた成果を現場での実践に密着した研修パッケージとして提供し、担当教員の資質向上と実践力の質的向上に資することを目的とする。

3. 研究計画と経過

言語障害教育における現場指向型教員研修プログラム開発と研修教材データベースの構築について以下の研究に取り組んだ。

(1) 言語障害教育の研修の現状についての検討

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会（以下、全難言協）及び国立特殊教育総合研究所（以下、特殊研）で行った全国調査から各自治体及び各学校での教員研修の状況・整理した。

(2) 言語障害教育担当教員の資質の検討

全難言協が組織している研修経営検討委員会の協力を得て、言語障害教育担当教員の職務内容を整理し、担当教員に必要な資質・知見等の専門性について整理した。

(3) 言語障害教育担当教員の資質を支える研修の内容についての検討

全難言協が組織している研修経営検討委員会の協力を得て、言語障害教育担当教員の資質を支え高めていくための研修の内容について検討した。

(4) 言語障害教育担当教員の資質を支える研修の方法についての検討

全難言協が組織している研修経営検討委員会の協力を得て、言語障害教育担当教員の資質を支え高めていくための研修の方法について検討した。

4. 研究組織

研究代表者	教育研修情報部	総括主任研究官	松村勘由
研究分担者	企画部	主任研究官	牧野泰美
研究協力機関	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 研修・経営推進委員会		